

スカート丈の「流行り」

【ミニブーム】

日本でミニスカートブームが始まったのは昭和42年（写真）。朝日でもその傾向が表れ始めた。

【反転して長く、どんどん長く】

ところが昭和49年になるとスカートの長い女子が表れ始め52年になると膝頭が見える生徒は皆無となった。昭和60年頃は座って向う脛の中程が平均となり、平成になると更に長くなる。この傾向は平成4年（写真）まで続く。

【一転、どんどん短く】

平成5年になると反転し、年を追って短くなっていった。平成12年では座ると膝頭が見える生徒が9割に達する（写真は平成14年）。

【中くらいに戻って落ち着く】

平成17年あたりからやっと長さが戻り始め、30年始めのクラス写真では膝頭が覗く2・3年生が半数程度まで減少し落ち着いた。

・・・自分世代と比べて驚きませんか？



昭和42年



平成4年



平成14年

平成14年はルーズソックスが最も流行った時期

「文武両道」や「二刀流」は当たり前！?

今や運動部、文化部とも全国大会出場レベルがめずらしくなっている。

正に同窓生として「誇らしい！」の一言。

自分世代と比べていかがですか？

〈現役生の活躍、7頁と別冊朝日4頁をご覧ください〉

多くの方は在学中の3年間しか知らないと思います。当時の「当たり前」がその昔は、そして今はどうかご存じですか？「えっ！ そうなの!？」・・・母校でのちょっと驚くような変化をご紹介します。

パフォーマンスの時代(昭和57年～)

今日の仮装行列はダンスやパフォーマンスを競う形になっている。ミュージカル仕立てのものが増え、それに伴って衣装に凝るものが増加した。

形式が変遷してきた現在の体育祭（※）でも、生徒たちが最も労力を注ぐのが仮装行列であることに変わりはない。お盆明けの後期補習から体育祭までの1ヵ月弱の間、3年生たちは仮装行列の準備に明け暮れる。その姿にはまぎれもなく血気盛んな明治の生徒たちの影が投影されている。



土砂降りの中演じられた平成19年卒3Cの「ライオンキング」

※平成6年、1週間の違いで開催されていた運動会と文化祭が、「朝日祭」として連続して開催されることになり、「運動会」が「体育祭」という呼び名に変わった。



昭和54年卒
3D「正義の味方だ
マジンガーZ」



昭和57年卒
3H「火の鳥2772」

昭和57年度から車輪を有する大型の「出し物」の製作は禁止された。



昭和55年卒
3D「サンダーバード」



昭和56年卒
3H「機動戦士ガンダム」



昭和58年卒
3B「白鳥の湖」



平成22年卒
3A「千と千尋の神隠し」



平成10年卒
（おさぎシノラトッピー）



平成23年卒
3D「シンデレラ～魔法の言葉は
ピピドパピドポー」